

第 5866 号	 リーダスクラブ	1994年1月6日創刊・毎日発行
		リーダスクラブFAXニュース (2017年)平成29年 12月 27日 水曜日

発行所 三輪厚二税理士事務所／顧問料不要の三輪会計事務所（編集・発行：税理士 三輪厚二）  
大阪市中央区備後町 2-4-6 TEL：06-6209-7191 WEB：<http://www.zeirishi-miwa.co.jp>

## ⇩ 平成 28 年相続の調査状況(不正によるもの)

**Q**：平成28年の相続税の調査状況で不正によるものの公表がされたそうですが、どのような内容でしたか？

**A**：次のような内容でした。

### 【解説】

先ごろ、国税庁から、平成28事務年度の相続税の調査状況の不正によるものの公表がされました。主な内容は、次のとおりです。

#### ①無申告事案に係る調査事績

相続税の無申告事案に対し実地調査が971件(前事務年度863件)実施され、相続税58億円(昨対133.1%)が追徴課税されました。このうち申告漏れ等の非違件数は751件(同655件)で申告漏れ課税価格は866億円(同105.1%)、実地調査1件当たりの申告課税価格は8,914万円(同9,543万円)、追徴税額は7.8万円(同619万円)でした。

#### ②海外資産関連事案に係る調査事績

海外資産関連事案とは、①相続又は遺贈により取得した財産のうち海外資産が存するもの、②相続人、受遺者又は被相続人が日本国外の居住者であるもの、③海外資産等に関する資料情報があるもの、④外資系金融機関との取引のあるもの等のいずれかに該当する事案をいいます。海外資産関連事案については、積極的に調査が実施されており、平成28事務年度では917件(前年859件)の調査が行われました。このうち申告漏れ等の非違件数は117件で、申告漏れ課税価格は52億円(同47億円)、重加算税賦課件数が9件で7億円が対象でした。

